

2016年5月19日

中華圏への沿線観光地情報発信を強化

「新浪微博 (Weibo)」、「微信 (WeChat)」で 東武グループ公式アカウントを開設

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、2016年5月17日（火）から新浪微博（Weibo／ウェイボ）、2016年5月16日（月）から微信（WeChat／ウィーチャット）の公式アカウントを開設しており、海外に向けたグループ横断的なSNSの開設は今回が初めてとなります。

新浪微博は個人アカウント登録数が約5.6億にのぼり、140文字の短い文章と画像・動画の投稿が可能なサービスであり、また微信はチャットアプリとして約4.4億人が使用し、1対1または1対多数のメッセージ交換等が可能なコミュニケーションツールで、両サービスともに中華圏で爆発的に普及しているソーシャルネットワークサービス（SNS）です。

今般、東武グループへのインバウンド需要を喚起させる施策の一環として、特に中華圏の訪日外国人観光客への情報発信のために同サービスを活用します。今後、沿線観光地である「浅草・東京スカイツリータウンエリア」「日光・鬼怒川エリア」「池袋エリア」「川越エリア」等を中心に、魅力的な写真などを活用し、訪日外国人観光客に楽しんでもらえる見どころやイベント等の観光情報を発信します。

東武グループでは、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、グループ内外の情報発信基盤を強化すべく2016年5月11日（水）にグループインバウンド情報発信室を発足しており、東武グループ事業エリアの知名度向上や魅力の周知によりグループ事業への誘客増、収益増を図ってまいります。

概要は別紙のとおりです。

以上



△Weibo 東武鉄道公式アカウント トップページ（イメージ）

東武グループ公式アカウント 新浪微博 (Weibo) / 微信 (WeChat) 概要

1 新浪微博 (Weibo) について

(1) 概要

微博とは、「微」=「ミニ」「博」=「ブログ」の意味で、中国語圏最大のソーシャルメディアと言われています。中国本土のみならず、香港、台湾やその他多くの中国人のいる国でも幅広く利用されています。

(2) 開設日

2016年5月17日 (火)

(3) アカウント名

東武_日本

(4) URL

<http://weibo.com/tobugroup>



△Weibo ロゴ



△Weibo

東武鉄道公式アカウントページQRコード

2 微信 (WeChat) について

(1) 概要

微信はチャットアプリとして登録アカウント数11億2千万、月間アクティブユーザー数は4.4億人(2015年2月時点)を超えた、1対1または1対多数のメッセージ交換等が可能なソーシャルネットワークサービスです。

(2) 開設日

2016年5月16日 (月)

(3) アカウント名

東武畅游



△WeChat ロゴ



△WeChat

東武鉄道公式アカウントページQRコード

※QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

<参 考>

グループインバウンド情報発信室について

訪日外国人の中でも主たるターゲットである台湾・香港・タイに加え、中国やASEAN・欧米豪等に対する東武グループ事業エリアの知名度向上や魅力の周知のため、グループ各社の情報のみならず自治体、観光協会や観光事業者等のグループ外の情報も含め、インバウンド情報の受発信基盤を強化するべく、グループインバウンド情報発信室を2016年5月11日(水)に新設いたしました。

以 上